

令和4年度 学校評価

- 1 学校教育目標 (P1)
- 2 本年度の教育重点目標 (P1)
- 3 自己評価総括表 (P2～P7)
- 4 生徒による評価総括表 (P8)
- 5 保護者による評価総括表 (P9～P11)
- 6 学校関係者評価 (P12～P14)
- 7 総合評価 (P15～P16)

城北高等学校

2022年度 教育目標

建学の精神 『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- 1 「心を磨き育てる教育」の確立。教育活動全体において「この坂を上れば希望がある」「自分のことより先ず人のことを思え」の理念を基盤とした教育の具現化と実践を図る。すべての教育活動の中で強い心と美しい心をつくることを意識した教育を展開し、人権感覚を磨き、あらゆる差別を許さない心を育む教育を実践する。
生徒を認め、励まし、伸ばす教育の実践で、一人ひとりの生徒の居場所をつくる。心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育、希望手帳の効果的活用。いじめをしない、させない、許さない教育の実践。(クラス、授業、部活動等連携指導) また、「SDGs」を理解し、自ら主体的に実行し得る生徒の育成を図る。
- 2 城北の進化「7つの学び」を深化させる。授業の質を向上させるための教科内における積極的な対話、研修と研究を積み、授業のねらいの明確化を図り、生徒が自主的、意欲的に取り組む教育を実践していく。また、ディスカッション力やプレゼンテーション力の向上を目指した授業の展開を創意工夫し、実践する。「本を語る学校」として、すみれ文庫を活用した教育活動を工夫する。ICTを活用した授業、生徒の興味関心を高める工夫と創造された授業の展開。
- 3 「計画的かつ系統的な進路指導」の確立。個々の生徒の進路希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育の実践。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの目標設定と系統的かつ具体化した指導の実践。
授業・課外の充実、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、希望手帳の記入の習慣化により、書く習慣づくりとポートフォリオの確立。また、職員間の連携を密にした小論文指導と面接指導。
- 4 「効果的かつ充実した学校教育活動と学校行事」の実践。生徒が主体的に活動し充実した教育が実践できるよう各種学校教育、行事等の内容を検討し改善を図る。
学校行事、各校務部行事、学科コース、生徒会行事等の精選と内容充実活動の実施。地域活性化プロジェクト(Jミッション)、体育大会、オープンキャンパス、学園祭、山鹿学、総合的な探究の時間の活用等、内容の充実と実践を図る。

3 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	R4	成果と課題	R
大項目	小項目		評価		3
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	建学の精神に則った教育活動の実践ができています。愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し、生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育の実践ができています。	3.1	建学の精神を十分に意識し生徒・学生対応、授業・言葉かけに努めた。落ち着いたクラスが増えている。Jミッション実施で各学科コースの広報活動できた。	2.8
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学科・コースの特色が明確であり、その特色や実績を高める教育活動が実践できている。また、個々の生徒一人ひとりの学力を伸長する教育活動の展開ができています。	3	看護を学ぶ喜びに焦点を当て教育している。各学科コースの特色を生かした教育活動が工夫されている。Jミッションをはじめ様々な校外活動で生徒は成長している。普通コースでの山鹿学、資格取得に主体的に取り組めた。	2.9
	地域からの信頼と、開かれた学校づくり	各学科コースの特色を生かした地域貢献活動等が充実しており、地域やPTA、各種団体との連携を図り、地域活動行事、学校行事、ボランティア等への積極的参加・活動ができています。また、生徒の活動、頑張り、実績をホームページや学校新聞、広報誌等で地域や中学校等に情報発信できている。	3.1	地域からの評価が良い。すばらしい教育活動、地域貢献活動が行われています。もっと外へのPRに力を入れ本校生徒の素晴らしさを発信すると生徒募集にもつながり良い。少しずつできるように充実してきた。情報発信努力した。コロナ禍でもできることを考え活動できている。	2.8
	教育環境の整備	施設や設備の充実・改善や、危険箇所等の早期発見、早期対応ができています。	2.9	定期的に全職員による「安全点検」を実施しては、不具合がある力所の対応が早くて良い。Wifiの整備、実習道具の充実、1号館トイレの改修。	2.7
学力向上	力をつける授業の実践	研修や授業研究等で教師間における指導力の向上を図るとともに、常に教材研究や学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上が図れている。振り返りシート等を活用し、自らの授業を客観的に研究、改善し、生徒に力をつけ、効果ある授業が実施できている。	2.6	指導力向上のためには教材研究が必要不可欠で、その時間確保が課題。振り返りシートを用いて授業の工夫ができた。教師間の研究が課題。主体的に学習に取り組む育成が不十分。	2.5
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画のもと授業の展開ができています。各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、生徒の学力向上を目指した授業時数の確保ができています。	2.6	実習や行事等で、授業時間数が確保できないことが課題。能力と理解の伸びに合わせた授業ができた。授業時数が学級によって不足している。	2.6
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向けた家庭学習の習慣化を図るための工夫や、生徒の状況を把握した適切な課題学習提供や個々の生徒の習熟状況の把握ができており、成果がでている。	2.4	家庭学習はほとんどできていないのが現状。特進コースの生徒の中にもできていない生徒がいる。基礎学力の差、学習習慣の差による成績両極化拡大が課題。小テスト実施できた。模試の活用等することができた。	2.5
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	生徒自ら考え行動し、互いを認め合う教育の実践、黙想や論語教育等、心を育む情操教育ができています。また、生徒への適切な言葉かけや対応で信頼関係の構築ができています。	2.8	主体性をもっとつけるよう指導したい。自ら考え行動できるよう指導していく事が課題。朝から論語を流してからSHRを始めては。黙想と論語しっかり取り組めた。今後も論語教育に力を入れたい。	2.7
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底や生徒自らが規範意識をもち生活していく指導ができています。また、学年・学科・校務分掌等における職員間の連携や指導の徹底ができています。	2.6	校則を軽く見ている生徒も見受けられる。共通理解不足。現代に合わせるべき。注意した時の生徒の反応に差がある。前年度より後退している。	2.6
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す指導ができています。また、問題の早期発見と素早い対応や、特にいじめ問題についてはアンケート調査等を含め生徒の様子や実態を早期に発見・把握した対応ができています。	2.9	活気あふれる姿を何度も見ることができた。厳しいだけでなく笑顔と優しさあふれる学科を目指したい。生徒と教師のコミュ不足。いじめを許さない学校を意識して指導できた。	2.9
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす交通安全教育ができています。また、自転車、二輪車通学生生については特に登下校時等の安全教育の徹底ができています。	2.8	事故があつてからは遅い。日常的な事前指導の徹底を。呼びかけはなされている。	2.6
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	各年次、3年間における進路に関する指導と支援が計画的にできています。各学年次に進路についての生徒の意識を高め、決定へ向けての学習意欲向上や計画的学習につなげることができています。	2.9	看護科では専攻科へ進学する生徒、しない生徒への対応ができています。各科の特色に応じた指導ができています。	2.8
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化が図れている。進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導ができています。	2.8	1,2年時にも面談家庭訪問をして意識を高めさせたい。個別指導が良くてきている。	2.8
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化が図れている。進路希望調査及び職業適性等の早期分析による適切かつ計画的な指導ができています。	2.8	コロナ禍で厳しいが、講話等の機会を設けたら。良好な結果ができています。	2.7
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	校内外の研修会等の参加や日常の教育活動の中で人権意識の向上と教育実践が図れている。また、生徒・保護者対応、教科・クラス指導等の中で、豊かな人権意識を持ち活動できている。	3	職員がまず人権感覚を磨くことが大切。そのためには研修が必要。まず教師が変わる。学年別校内研修、県人教大会参加でき有意義であった。	2.8
	生徒の人権意識の高揚	人権教育を日常の教育の柱に据えた教育実践ができており、豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る教育の実践ができています。また、学校行事、学年、クラスにおいて計画的に人権教育の実施ができています。	2.9	日常の教育活動の中での日常的な指導の充実が必要。年間計画に基づいた計画的な指導が必要。授業の中でも言動気を付けている。特別な学習も必要であるが、日常生活の中での声かけ等大切。	2.7

特別活動	適切な学校行事の実施と充実	生徒が意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る指導ができています。また、学校行事は個々の生徒の成長への効果的な機会となっている。	2.9	学校行事への意識付け課題。体育大会、学園祭保護者とともに参加でき、生徒も意欲的であった。コロナ禍でもできることを意識し取り組んでいる。行事の精査必要。	2.7
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動となっている。生徒会・委員会の運営、役割について明確化されており、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織となっている。	2.9	生徒頑張っている。教師も根気強く丁寧に関わっている。校外のボランティア活動に積極的に参加を。図書委員の研修で他校とオンラインで行い、しっかりと発表でき良い経験になった。	2.9
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の活性化と向上が図れている。また、部活動をとおして、人間形成や協調性、規範意識の向上へと繋がっている。	2.6	部活動で何を学ばせるか。各部活動それぞれに頑張っている。生徒募集の形ができた。「応援される部活」生活面でもリーダーとなるよう心も育成。	2.6
評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	成果と課題	R 3
大項目	小項目				
総務部		生徒募集へと繋げるオープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に作成・発信ができています。本校教育・生徒の活躍等の発信ができています。	3.1	オープンキャンパス等で本校の魅力や学科の学びの発信はできている。HPだけでなく学内掲示も行っている。中学校訪問を全員で行ったのは良かった。OC・入試などの情報発信は素早い対応であった。福岡地区に合わせた学校案内作成は良かった。細やかに活動できていると思うが訪問はやり方を考える必要が。Web更新やインスタを取り組む必要有。中学校訪問は、毎年訪問場所が異なるより、ある程度決めたほうが良いのでは。	3.1
		入試問題作成、入学願書配布、入学試験、合格発表までの流れが的確かつ計画的に実施できている。	3.1	各担当に分かれて、全職員で行えている。願書記入注意点の同封、振り込み表導入など簡略化された。	3.1
		PTAの繋がり、活動の活性化が図れている。	2.7	愛校作業等、熱心に関わって下さった。PTA活動より深く、広く関わったら。愛校作業保護者の協力が見られた。総会出来なかったが、授業参観ができた良かった。	2.4
		同窓会活動の活性化が図れている。	2.1	活動の活性化がみられると良い。3年ぶりの役員会再開の予定が延期になった。コロナ禍でなかなかできない現状があった。	2.2
		効果的な環境美化の実施、具体的な環境美化計画、心の掃除の実施により、効果的かつ情操教育へと繋げることができている。	3	心の掃除はできている。掃除に対する意識は上がっている。一部のさぼりを見逃してしまっている。担当力所の生徒はよく頑張った。心の掃除の意義の発信不足。	2.9
		総務部活動全体について成果と課題		全体的に熱心に取り組んでいる。生徒募集の成果をあげようという意識を高く持ち、取り組んでいる。生徒募集のデジタル化。中学校訪問は今年度のスタイルがベター。総務部の仕事が多岐にわたり役割分担はしているが一つ一つこなすのが難しい。スリム化と充実化を図る必要有。生徒募集については総務だけでなく全職員の意識と協力が必要。全職員による中学校訪問が良い。	R3
各部及び専攻科	教務部	学力保障のための授業時数の確保と効果的な時間割作成、自習時間の減少を図ることができている。	2.8	特別時間割作成のため、自習はない。特別時間割等でパソコン室の時間が減る。	2.9
		目的を明確化し、効果的かつ充実した学校行事の実施ができています。	2.8	行事が多すぎる。今年は実施できた行事があつて良かった。	2.9
		効果的な授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業が実施できている。	2.9	教材研究の時間が確保できない。ICTもっと自分自身の努力が必要。教科書が終わらない教科が多いように思う。なかなか時間がとれず教材研究が追い付かないが視覚教材を取り入れてこれまでと違う授業スタイルが出来つつある。	2.7
		研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図ることができている。	2.5	研究授業、行われているのでしょうか。教材研究が不十分で、時数の配分、評価等各学科・コースに合わせて工夫する必要がある。研究授業の実施を。	2.2
		振り返りシート等の活用で、授業や指導を振り返り、工夫改善ができています。	2.4	教科毎にとられている先生もいる。各自工夫する段階で止まっており、工夫が足りない。利用が足りない。	2.5
		職員の指導力向上、意識の向上を図る校内外における効果的な研修ができています。	2.3	生徒の実態を把握しどこまで伸ばすかが大切。校外の研修にも参加したいが参加が難しい。	2.5
		多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用ができています。	2.9	担任と教科担当等の連携で、提出物期限を概ね守ることができた。	3

		教務部活動全体について成果と課題	特別時間割(案)が出された段階では不都合がなく黙っていると、不都合、要望を申し出た先生に合わせて変更され、「決定版」として示され、その結果不都合が生じてもういうことができない。時間割変更どうしたら少なくできるか。教務本来の業務ができていない。生徒情報によるとYouTubeを良く見せられる先生がいるということだが、これはどうかと思う。	R3	
生徒指導部		基本的な生活習慣の確立を目指した、挨拶、服装指導や欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導の徹底ができています。	2.8	朝のSHRをゆっくりしたい。防寒着を着用について改善を。挨拶服装の乱れが目立つようになった。挨拶できない生徒が多い。高校の特色になっていない。	2.7
		自主性と規範意識の構築を図るための、校則や社会的マナー・ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施ができています。	2.8	全体的に、時間とゆとり確保が必要。指導してもその指導に従えない生徒が増加しているのに危惧。高速の見直し必要。なぜこの校則でなければならないのか、もっと生徒主体で高速を見直しても良いのでは。	2.6
		規範意識向上と自主性・意識向上につながる特別指導の実施ができています。	2.8	ルールを変えないと今にあっていない。調書の反省文について時々疑問に思うことがある。なぜいけないのかそこまで必要があるのでは。	2.9
		いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる指導ができています。	2.8	生徒との会話は心掛けた。担任で差が。問題の早期対応ができていない。それが進路変更に関係している。	2.6
		生徒指導部活動全体について成果と課題		5%の壁を粘り強く指導。各科における温度差の是正。挨拶を返さない先生がいると生徒アンケートに書かれているが、教員の意識が低いのでは。歩くときポケットに手を入れて歩いている教員がおり改善すべき。一部の生徒のスカート丈、髪の毛等注意しても「今まで言われなかった」等不徹底を感じている。校則違反について審議する際平等と公平について考える。何について審議しているのか、ぶれると不平等、不公平になる。	R3
評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	成果と課題	R3
大項目	小項目				
人権教育部		豊かな人権感覚を身につける生徒を育てるため、学校全体・学年・クラス等において計画的かつ効果的な人権教育の実施ができています。	2.8	もっと計画的にすべき。今年度は学年人権レポ研が行われ、有意義であった。	2.6
		職員の人権意識の高揚を図る校内外研修等の計画的な実施や参加ができています。	3	県人教大会に参加でき、学びが多かった。生徒・職員向けの働きかけが薄い。レポ研ができたのが良かった。	2.3
		人権教育部活動全体について成果と課題		命の大切さを学ぶ授業はとても良かった。生徒の心にも響いたのではないかと。人権レポート提出期限が守られていない。教員の人権意識高揚のため、レポートは毎年行うべき、自分を振り返ることができる。教年ぶりに実施された人権レポートは先生方の生き様や日頃の考え方がわかり意識が高まった。一方で、未提出の先生がいたのは残念だ。多様性と言われているがまだ、こうでなければならないという価値観の転換ができずに生徒に対応しているところもあるのでは。	R3
教育支援部		個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	2.9	情報共有はできています。家庭背景や性格・特性をしっかりと考え支援をしていく必要性を感じる。全体像を把握する力が必要。	3
		生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり教職員への研修、情報の共有等におけるのバックアップ体制と組織の確立	2.7	生徒との関わり、情報共有はできています。生徒支援に対して早くからの一歩学習や担任と支援部との早期からの連携、手帳の申請など教職員(担任)の気づき力が必要。	3
		教育支援部活動全体について成果と課題		特別支援に関しては手厚く対応できているが、実際に支援を必要としている生徒の声が聞き取れているか課題。生徒への関わり方、生徒へ寄り添う姿勢に大きな差がある。担任・副担任との情報交換・連携が必要と思う。スキルと大人の対応が必要。支援体制は良いが、共有が課題。	R3
保健体育部		体育的活動の充実体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図れている。	2.7	体育大会ができたことは良かった。体育的行事は確保したい。クラスマッチができず残念であった。体力錬成行事も復活を。	2.5
		保健衛生面の充実、生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図ることができています。	2.8	性教育に関する研修予定を立てたが、中止となった。	2.8
		保健体育部活動全体について成果と課題		コロナ禍で部活動の合宿ができなかったことが残念。行事の復活でクラスの絆が深まることを期待する。	R3

各部 及び 専攻科	生徒会	生徒会の役割、運営等を把握整理し、主体的かつ効果的な生徒会活動ができている。	3.2	OC等生徒会役員が自ら企画から運営まで意欲的に取り組むことができた。生徒会活動が自主性に欠ける面もある。	3.2
		生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図ることができている。	3	委員長中心に主体的に活動内容、移動計画を立案できた。執行部と各委員会との連携を強める。円滑な運営が必要。	3.1
		生徒会活動全体について成果と課題		担当の先生方の尽力に感謝。SDGs活動を主体的に取り組む全校生徒を引っ張ってほしい。柔軟な企画力が必要。	R3
看護専攻科	看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成するため、専門課程としての教育活動の充実ができている。	3.2	実習や研修をとおして、教育活動ができていた。年度途中での進路変更者を減らすことが課題。	3
		国家試験合格へ向け、計画的、合理的な学習計画・実施ができている。	3.1	学生数名心配。ゆとりを。対策をとって学習の定着を図ることができている。合格率が高い。	3.2
		看護専攻科全体について成果と課題		もっと高校で特に心をしっかりと育てなければならない、そして、専攻科へ連携を。1年次より看護学生としての自覚を持った行動、学びができるよう日々関わることができた。病院など各種奨学金申請の際もっと繰り返しリスクを説明すべき。	R3
各部 及び 専攻科	事務部	経理・庶務・会計等明確化を図り、正確かつ適正な事務処理ができている。	2.9		3.1
		安心安全な食堂運営安心安全かつバランスのとれた食事の提供ができている。	2.9	食材が値上がりする中工面している。朝食にメインのおかずをもう一品。寮生以外の生徒にも内容の充実があれば…。寮生は特にスポーツをしている生徒が多いので、もっと栄養、内容を充実させるべき。	3
		計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図り、的確かつ合理的なスクールバスの運行を行うことができている。	2.9		3
		寮運営において、寮生の実態把握を的確に行い(点呼体制、寮生活における規律体制の確立等)、安心・安全な生活を送ることができている。	2.9	女子寮の環境整備が必要。(避難訓練等含)寮専用のごみ置き場設置希望。	2.8
		事務部全体について成果と課題		入試、旅費計算、スクールバス集計を早急に。仕事のローテーション、引継ぎ、助け合い。女子寮のミーティングスペース、自炊場所の改善が必要。寮生の管理で、寮監と担任の連携ができていない。	
評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	成果と課題	R 3
大項目	小項目				
各部 及び 専攻科	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立が図れており、生徒の進路希望や学力等の的確な把握や指導、計画的、体系的な指導ができている。	3.1	組織的に対策を。	2.7
		進学指導において、計画的かつ効果的な学習指導、小論文指導、面接指導等ができている。	2.9	面接指導について計画的にできないものか。小論文指導は1、2年時から計画的にできないものか。面接練習場所確保が困難であった。	2.8
		就職指導において、計画的かつ効果的な学習指導、面接指導等やキャリアプランニング活動の充実ができている。	2.8	面接指導について計画的にできないものか。面接練習場所確保が困難であった。	2.8
		個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な体制や指導の徹底が図れている。	2.8	小論文、志望理由書等担任以外の指導体制(協力)できないか。	2.6
		進路指導部全体について成果と課題		検討会議で出た意見などは尊重して頂きたい。	

	行事名	評価(4~1)	成果と反省と課題	R3
学校行事等について	Jミッション	3.3 学科内での事前の情報共有が必要。学園祭と開催され地域、保護者に本校の取り組みが伝わったことが良かった。生徒が理解せずやられている感があり、やり方、発表をもっとわかりやすくする必要がある。内容が盛りだくさんで各科コースの特色を生かして楽しみながら学べた。他の科やコースの取り組みを知る良い機会になった。学科により生徒・教師間に意識の差がある。生徒が自ら考え、行動する為の力になることは確実である。発表しても見学体験する生徒が少ないところもあったのが残念だった。各科の生徒達の成長が見られたが、科に職員の関りの差が見られた。とてもいい機会であったが、準備までの期間に課題が。活動内容の共有、連携が不十分(生徒間、職員間)。本校の教育内容を地域へ発信する機会として素晴らしい。内容や生徒の取り組む姿勢に感動した。外部からの参加(医療福祉科)もインパクトがあり見る生徒の反応も良かった。Jミッションと学園祭が同日で成功させるため、大変だった。生徒にとって大きな学びになったことは間違いないが、3年生は進路活動と重なり大変だった。学園祭との同日開催はなかなか難しいと感じた。今年は楽しく、学科の取り組みも工夫が凝らされていて良かったと思う。年間通して授業でやっている成果が見られた。学科によって差も感じられ教員側の意識の差とも思う。各学科の学びがわかり大変良い。		3.3
	学園祭	3.1 今年は、生徒の頑張る姿、笑顔、普段は見ることのない姿を見ることができた。生徒の生き生きと準備、実行している姿が嬉しかった。久しぶりに保護者が参加できたことが良かった。大変良かったが、3年生の負担があったのではないかと。とてもいい機会であったが、準備までの期間に課題が。2日間の開催ができてよかった。生徒達はよくやってくれた。制限がある中で生徒達にとっては良い機会となった。Jミッションとは分けたほうが。3年の進路指導との兼ね合いから時期も検討しては。演劇部リハ、本番朝集合等アクシデントもあったが、生徒会スタッフに支えて頂いた。3年生の進路活動を考えると3年生の参加の仕方は考えるべき。1、2年生もバザーやクラス独自の取り組みをさせてみては。		3.2
	クラスマッチ	2 実施できずに残念であった。体育委員が準備していたので残念だった。冬はインフル等流行しやすいので、時期を検討しては。		2.0
	ビブリオバトル	3.3 とても良かった。今後も続けたい。教室でのビブリオバトルも良かった。時間があれば全学年代表者を出してほしかった。代表者、聞く態度共によかった。本校独自のプロジェクトとして定着、ただし運営の主体が不明。生徒が張り切って取り組んでくれた。学級としても前向きに参加できた。限られた時間の中での運営は非常に厳しいが、生徒達が頑張った。今年度のやり方は良かった。学科によっては事前の活動も全く関わらず本番も参加しないというのはどうかと思う。もっと日程を調整したり日頃から工夫する必要があると思う。「7つの学び」の一つであるので年間をとおして活動すべき。決勝戦はとても面白く読みたい本も見つかった。		3.0
	学校説明会	3.3 良かった。時間も長くなりすぎず適切であった。生徒達が協力的でとても良かった。中学校の先生方に直接来校頂き空気を感じて頂ける絶好の機会と有意義。毎年同じではなく工夫したい。ビブリオ担当の生徒の人選は担当に任せてほしい。中学校の先生は満足されていた。生徒を参加させるの対面型に戻り、反応も良かった。新規の中学校参加もあった。		4.0

	評価(4~1)	成果と反省と課題	R3
本校におけるコロナ対策について	3.2 感染対策の細やかなアナウンス、指導の徹底ができています。家庭との連携もとれている。生徒への意識付けをしっかりと行っている。対策、意識にクラスに差がある。黙食が日常化されている。生徒・職員共に意識している。寮における体調不良者への早期対応の流れができてきたことが大きく、今後も継続することが大切。修学旅行、学園祭など行事を行うことができよかった、夏のクラスターの経験を生かすべき。生徒間、教師間にも意識の差が大きい。全ての危機管理に通じるもので個々の意識の高揚が必要。昨年から毎日黙食に取り組むことができましたが、クラスによってはできていないところがあり、差を感じる。		3.1

<p>本校におけるICT教育について</p>	<p>評価(4~1)</p>	<p>成果と反省と課題</p>	<p>R3</p>	
<p>学校経営改善検討委員会について</p>	<p>評価(4~1)</p>	<p>成果と反省と課題</p>	<p>R3</p>	
<p>その他 全体的に成果や課題</p>	<p>2.7ICT担当の先生方がわかりやすく説明して下さり、活用することができたが、更に活用することが課題。2号館にwifiを。もっと自分自身できることを拡大し、授業をより魅力的なものにしていかなければならないと考えている。タブレットをもっと活用する必要がある。もっと積極的な活用が必要。授業でタブレットとノートをバランスよく用いていく方法を工夫している。自ら準備したり学ぶ時間がほしい。教員間で使用頻度の差があることが課題。教員同士で活用方法話し合ってみては。時代に合わせ進化している。自分自身努力が必要。調べ学習→まとめ発表など、少しずつタブレット活用を増やした。「提出させる」もやってみた、もっと活用できる場面がないか教材研究時点から工夫したい。教科、クラスによってばらつきがある。活用方法に関する情報発信が不十分であった。導入ソフト等の活用事例の紹介などが頻繁に行われることが可能になることを望む。職員会議等でのペーパーレス化に繋がった。教務とICT委員は別組織にすべきだと思う。職員間の温度差をととても感じる。ロイロノートは継続したいです。事務作業の効率化が図れた。個人的にも2学期から全ての教科をICT教材とワークに切り替え、準備は大変だったが生徒からも「とてもわかりやすく楽しい」との声が聞こえ、定期考査の成績も向上している。これからも学び続けたい。</p> <p>2.7職員一人ひとりが学校経営にビジョンを持ち取り組んでいることが伝わる。今年度を是非次年度に生かしましょう。併修制度がスタートしたこと。職員の意識向上にはなっている。理事の先生方のまとまった方向性を伺いたい。成果は教員同士で語り合う機会が減少している中で意見交換ができること、反省は教育活動への反映がなされていないこと、課題は会の要・不要の検討。属する部会では意見が出て中々具現化・実行できていない現状があり少しジレンマを抱えている。教員が経営に参加できる良い機会。短い時間の中で連続して取り組みや対策を考えていくのは難しいと思うが、見通しをつけていく上で、財務、生徒募集、教育活動、労働環境の整備をどう進めるのか、具体案を検討する必要がある。メンバーをシャッフルし、違う視点からのご意見を。</p> <p>最近の生徒の様子、挨拶、掃除などの力が低下してきている。各提出物の〆切が守られていない。期日を守らないと誰かに迷惑をかけています。職員に一人1台の校務用PCの貸与とネットワークの構築を！校内放送で生徒個人を呼び出しているのを聞くと、人権上いかがなものか。保護者は子どもがどのような学校生活を送っているのかと店舗気がかりだと思ふ、今年度は体育大会、学園祭、Jミッション、授業参観と見て頂く機会があり、本当に良かった、これからも開かれた学校づくりを目指していかなければと思う。毎朝、寮生、部活動生が行っている掃除がととてもすばらしい、朝からきれいな校内に気持ちが引き締まる、ありがとうございます。コロナ禍緩和された1年で教員間で感染に対する意識も様々で学校としても統一できていなかった。今年度は1年生がよくすみれ文庫を活用してくれている。本校は多様な能力と個性、様々な進路希望を持った生徒を粘り強く指導している。入試についてはコロナ禍の中公立の前期早倒しの中とどンドン変わっていく。振込金もゆうちょATMとしたが今後コンビニやネット出願・発表、問題外部委託や発表までの日程等検討する必要がある。生徒達はととても素直で可愛く、その一方でプレゼン力なども年々高まり時代に合った教育の成果を感じる。「7つの学び」が本校の指針に挙げられているが、どれだけ論語教育がなされたのか、希望手帳が活用されているのか……。担当を中心に活動する姿勢は大切である。案内を流しているが生徒まで届いていないことがある。</p>			<p>2.7</p>

4 生徒による評価総括表		当てはまる		まあまあ当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない	
		今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
1	学校の教育方針や教育に関する取り組みなどの情報は十分に伝えられている。	37.3%	31.2%	53.9%	59.8%	8.3%	7.3%	0.5%	0.9%
2	学校から配布される文書はわかりやすく丁寧な物になっている。	49.0%	50.6%	46.8%	45.7%	3.3%	3.3%	0.1%	0.3%
3	学校からの連絡は適切な時期・時点に行われている。	40.6%	36.7%	47.2%	50.5%	10.6%	11.1%	1.6%	1.7%
4	先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる。	41.2%	37.5%	47.2%	45.7%	9.9%	14.2%	1.7%	2.5%
5	先生方の対応は親切で誠意があると感じる。	46.2%	43.5%	43.6%	42.7%	8.7%	11.9%	1.4%	1.9%
6	先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる。	47.5%	46.0%	42.4%	40.8%	8.5%	10.8%	1.3%	2.4%
7	城北高校は学校行事が充実している。	32.6%	19.0%	44.4%	39.6%	18.5%	29.9%	4.3%	11.4%
8	城北高校では基本的な生活習慣や規範意識を身につける指導が適切に行われている。	45.5%	38.6%	45.8%	52.2%	7.7%	7.9%	0.7%	1.3%
9	城北高校では命や人権を尊重する指導・学習が適切に行われている。	48.8%	45.3%	43.9%	45.6%	6.2%	7.8%	0.8%	1.4%
10	城北高校では安心して学校生活を送ることができる。	51.7%	45.3%	39.6%	42.7%	7.5%	9.7%	1.1%	2.4%
11	城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている。	46.9%	42.6%	43.7%	45.3%	8.2%	10.4%	1.1%	1.6%
12	城北高校では健康と安全について適切な指導が行われている。	51.4%	45.3%	42.4%	47.6%	5.3%	6.0%	0.5%	0.9%
13	城北高校では進路について情報提供が適切になされている。	55.0%	46.2%	40.1%	46.7%	4.4%	6.2%	0.6%	0.8%
14	城北高校は教育に必要な施設や設備が整っている。	44.4%	40.7%	43.4%	47.0%	10.7%	9.7%	1.8%	2.7%
15	城北高校は他の学校にはない特色がある。	47.5%	43.5%	38.2%	41.9%	12.0%	12.3%	2.2%	2.2%
16	城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている。	45.2%	41.9%	47.0%	47.6%	6.7%	9.7%	1.2%	0.8%
17	就寝、起床、食事など規則正しい生活をしている。	49.4%	48.1%	34.8%	36.4%	12.6%	12.5%	3.1%	3.0%
18	学校を欠席、遅刻しないように日頃から心がけている。	70.8%	70.7%	22.2%	23.3%	5.9%	4.9%	0.7%	1.1%
19	先生や友人に毎日あいさつをしている。	67.5%	62.2%	28.8%	32.4%	3.0%	4.6%	0.6%	0.6%
20	希望手帳を有効に活用している。	17.7%	14.4%	32.8%	38.3%	36.1%	36.4%	13.9%	11.1%
21	心の掃除に意欲的に取り組んでいる。	43.7%	38.9%	43.6%	50.3%	10.4%	9.0%	2.0%	1.9%
22	家庭学習(予習・復習・自学)の時間を十分確保し取り組んでいる。	18.1%	14.4%	42.3%	41.6%	30.9%	33.1%	8.1%	10.9%
23	学校の授業内容を理解している。	25.3%	21.4%	54.3%	57.9%	16.0%	17.2%	3.4%	3.5%
24	特別活動(学校行事・生徒会活動・部活動など)に積極的に参加している。	43.9%	37.5%	35.7%	38.8%	15.7%	19.5%	3.7%	3.8%
25	学校の施設、公共物を大切にしている。	76.4%	74.1%	21.5%	23.4%	1.9%	1.1%	0.3%	0.5%
26	自分の将来に夢や希望を持っている。	50.6%	49.5%	35.0%	33.5%	12.3%	13.9%	2.2%	3.0%
27	明るく生き生きと学校生活を送ることができている。	49.5%	42.9%	40.6%	43.8%	8.3%	10.9%	1.6%	2.4%
28	城北高校に入学して良かったと思っている。	42.8%	35.0%	38.8%	42.4%	14.1%	16.1%	4.0%	6.5%

5 保護者による評価総括表

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項目	R4年度 評価 (%)	R3年度 評価 (%)
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4(24.8) 3(65.8) 2(9.4) 1(0.0)	4(26.4) 3(62.7) 2(10.6) 1(0.3)
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4(33.0) 3(55.1) 2(11.6) 1(0.3)	4(28.1) 3(50.9) 2(19.2) 1(1.8)
3	城北高校の授業は、生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している。	4(31.9) 3(58.2) 2(9.6) 1(0.3)	4(26.9) 3(54.1) 2(18.9) 1(0.0)
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4(35.7) 3(55.2) 2(8.8) 1(0.3)	4(33.9) 3(52.6) 2(11.7) 1(0.5)
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4(41.4) 3(49.9) 2(7.9) 1(0.8)	4(38.1) 3(49.5) 2(10.9) 1(0.5)
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4(38.6) 3(49.5) 2(11.4) 1(0.5)	4(33.9) 3(46.9) 2(15.3) 1(3.9)
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4(46.1) 3(47.9) 2(5.5) 1(0.5)	4(49.7) 3(43.0) 2(6.7) 1(1.0)
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4(41.5) 3(50.0) 2(7.7) 1(0.8)	4(43.5) 3(47.7) 2(7.8) 1(1.0)
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4(34.0) 3(56.9) 2(8.9) 1(0.2)	4(30.1) 3(54.4) 2(13.2) 1(2.3)
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4(31.0) 3(56.5) 2(12.5) 1(0.0)	4(26.9) 3(57.5) 2(13.5) 1(1.3)
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4(46.6) 3(48.6) 2(4.5) 1(0.3)	4(49.7) 3(45.1) 2(4.4) 1(0.8)
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4(37.9) 3(53.8) 2(8.3) 1(0.0)	4(34.7) 3(52.6) 2(11.7) 1(1.0)
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4(42.4) 3(46.8) 2(8.7) 1(2.1)	4(39.9) 3(41.7) 2(15.0) 1(3.9)
14	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4(40.4) 3(50.5) 2(8.3) 1(0.8)	4(31.2) 3(55.5) 2(12.0) 1(1.3)
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4(54.7) 3(38.0) 2(6.3) 1(1.0)	4(53.4) 3(32.6) 2(11.7) 1(2.3)

本校やアンケートに対する保護者による御意見や感想

1 学年

- (1) バスが早発していることが多いので早発が無いようにしてほしい。
- (2) バスの運転が荒いと思う。
- (3) 蚊の駆除をしてほしい。(旧体育館)
- (4) 入寮時に部屋の清掃がされておらず困った。とても汚かった。入寮前は点検して欲しい。
- (5) いつもご指導いただきありがとうございます。毎日学校が楽しいとその日の出来事を話してくれる子どもの姿にとっても嬉しく城北高校に感謝しています。いつも本当にありがとうございます。

2 学年

- (6) 挨拶のできる子できない子の差が激しい。部活動に所属していない子に関しては挨拶する子はいません。上の子が他校に通っていたが全生徒が挨拶をしてきていたのので差を感じる。
- (7) 以前より挨拶の声が小さい。する子しない子差が大きい。
- (8) 修学旅行の行き先、子ども達の意見はどうだったのか。
- (9) 先生方のきめ細やかな配慮にとっても感謝しております。自然に歩み寄って頂けることで子どもからも「とても話しやすい」と言っておりました。
- (10) コロナ禍において校内の活動が見えにくく判断できず解答しにくい。
- (11) 2年生の保護者です。進路指導面での質問です。城北高校では、3者面談等はいつ頃から開始される予定でしょうか。他高校に通われている保護者の方とお話をすることが多く意見交換をしているのですが、どこの学校もすでに3者面談を行われているようです。コロナの影響もあると思いますが、まだ3者面談を受けたことはありません。(家庭訪問では進路に対する話はあまりありませんでした。)高校によってはこの時期に進路がはっきり決まっていないのは遅いと言われるそうです。進学するにしても大学や専門学校にどの時期にどのような受験方法で受験するのか独自で色々調べてはいますが、調べれば調べるほど不安になってきます。先生方もいろいろ大変かとは思いますが、、、ご回答を頂ければと思います。
- (12) いじめのない学校にするといいながら先生方が科ごとのひいきが多いと思います。まずは先生方が科ごとの差別をなくすことが大事だと思います。子ども達はそういうことに敏感なので。
- (13) コロナの休校間について、リモート授業など工夫して生徒が学習できる機会を増やして欲しい。
- (14) 遠方から通っています。毎朝早くから夜遅く帰宅しますが、文句も言わず楽しく通っている子どもの様子を見てとても良い学校に入学したと感じています。これからもよろしく願います。
- (15) スポ科2年の修学旅行だけなぜ宮崎だったのでしょうか。スポ科は遠征で近隣の県にはいつも行っているのだから、修学旅行ぐらい楽しめるところに行くべきだったと思います。クラスターを出した責任を2年スポ科だけとらされるのですか。東京や大阪に行った他のクラスと修学旅行費は同じだったのでしょうか。本当に失望しました。

3 学年

- (16) 3年時の担任の先生が信頼でき安心して子どもを預けることができました。
- (17) コロナ感染者情報をリアルタイムに発信して欲しいです。
- (18) 校長先生始め教頭先生、担任の先生と生徒に対し、また保護者にまで親身に接して頂き日頃から感謝しています。城北高校に入学してよかったです。
- (19) 担任の先生にはすごく子どもたちに親身になってもらい感謝しています。

- (20) メールですぐ連絡が来るので急な変更でも対処しやすく助かります。
- (21) 子どもも楽しそうに学校に通っているので安心しています。
- (22) 受験対応におけるカリキュラムが他校に比べ遅いように思う。
- (23) 担任の先生はもちろん各個人の能力に合わせたプライバシー保護もあり、指導が熱心に取り組まれている素晴らしい学校方針です。いじめのない、えこひいきのない、差別発言のない生徒一人ひとりが伸び伸びと育つ社会人になれる場所です。
- (24) 調理室のコンロがつきにくく使用しづらいそうです。
- (25) 教室内部の空気清浄機が必要。
- (26) 希望の坂を下って看板のところで左から右へと斜めに横切る生徒が危険。
- (27) コロナ禍でありながらも多くの経験をさせて頂き善き高校生活となりました。子どもの良いところを伸ばし、積極性を引き出して頂きました。社会に出ていく糧となる対人関係での問題解決方法、立場が上の人への交渉方法など有意義な多くのことを学べました。今後も新入生を増やし、城北高校で幸多き学びを得られる子どもを生み出して欲しいです。

専攻科

- (28) 以前のような積極的な挨拶が今はほとんどないのがとても残念。
- (29) コロナの影響もあり学校行事も減り先生方とお会いする機会も減っていますが、お会いした時には笑顔で皆さん対応されています。生徒達も立ち止まり挨拶をしている姿をみると心良く思います。

評価委員会報告書

令和5年2月24日(金) 15:35～16:45 自己評価、保護者アンケート集約結果について

令和5年3月16日(木) 15:35～16:50 学校評価総括について

令和5年3月24日(金) 15:00～16:30 学校評価総括と次年度へ向けて

【 内 容 】

○本年度は、コロナへの対応や状況判断もでき、職員間の連携も図れ、その時点での課題や改善点を共有し、改善すべく実践へとつないできたのが一つの成果であった。

○「進路指導」「生徒指導」等、課題が明確に表れてきているところを来年へ向けた具体的改善策を図らなければならない。

○男子寮新築や耐震工事等、教育環境等の整備について、具体的に進んでいることが成果としてあげられる。

○「教育の質の向上」と「生徒の意識・意欲向上である。継続して改善へ向けた取り組みをしなければならぬ。

○各校務分掌における課題を明確にし、生徒による評価、保護者による評価についても結果をしっかりと受け止め、今後の教育活動へ生かしていかなければならぬ。

○4段階の評価で2.5以下の項目については、組織として、個人としてそれぞれの課題を明確に、次年度へ向け改善検討を図っていかなければならぬ。

○学習に対する取り組みや、主体的に取り組む生徒の意育成について、クラス間、学科間格差が大きいのが実態であり、各教科や学科において更に改善していくために取り組んでいかなければならぬ。

○保護者による評価を頂いたが、コロナ禍の影響もあり、以前ほど学校教育活動における理解が薄くなってきている感がある。保護者との連携や保護者からの協力は不可欠なものであり、重要なものであるため、本校が掲げる教育目標や重点目標への実践課題を明確に保護者に伝えながら取り組まなければならない。

○アンケートでは保護者からの意見をたくさん頂くことができた。大多数が感謝のことばであったが、厳しい意見があったのも事実であり、真摯に受け止めて改善を図る努力が必要である。保護者の理解と連携を創り上げることを職員全員で再度確認し、「満足させる教育」の実践を確立していきたい。今回の評価すべてを職員個人の課題とし、また、組織の課題としてしっかりと向き合い、改善していきたい。

○授業力、指導力の向上と組織としての個々の連携、組織としての力を上げるため、具体的実践、教師間における学び、研修等の実施など次年度へ向け取り組んでいく。

○学校教育活動や、行事、クラス状況等、文書等書面で、保護者にさらにわかりやすく情報提供を各クラスで通信等発行し行っていく。

○日ごろからの保護者との連携・相互理解こそがその根本にあることを確認し実行していく。

○保護者の理解と連携を創り上げることを職員全員で再度確認し、「満足させる教育」の実践を確立していく。今回の評価すべてを職員個人の課題とし、また、組織の課題としてしっかりと向き合い、改善していく。

6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価

4:そう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

1 学校経営全般について	
項 目	評価(14人)
(1)学校の経営方針や本年度の努力目標は、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	3, 5
(2)学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	3, 1
(3)学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	3, 1
(4)学校は、各学科コースの特色を生かした教育課程と、その教育指導実践を行なっている。	3, 4
2 自己評価について	
(1)アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	3, 5
(2)アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	3, 5
(3)学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	3, 3
(4)評価項目の大項目について	
①『学校経営』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 2
②『学力向上』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 1
③『生徒指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	2, 8
④『進路指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 2
⑤『人権教育の推進』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 2
⑥『特別活動』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 2
⑦大項目『各部及び専攻科』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 2
⑧『学校行事、コロナウィルス感染症対策等』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	3, 5

<h3>3 生徒による評価について</h3> <p>『生徒による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。</p>	<p>3, 4</p>
<p>『生徒による評価』における御意見 ①「城北高校に入学してよかったと思っている」が42.8%と高い数値が一番生徒の評価を反映していると思う。保護者としても大変うれしい結果です。②城北高校に入学してよかったと思う子どもがこれからもっと増えればいいなと思います。③細かな点の評価はわからないが卒業するときに「この学校で良かった」「このクラスで良かった」という言葉が全てかなと思う。④項目の26に当てはまらない子の割合が多い。将来に関してもっと子ども達へ夢や目標を明確にして導いてやる指導が必要ではないか。⑤学校行事の実施や先生方の御指導で昨年より数字が良くなり大変良かったと思います。希望手帳がどのようなものかわかりませんが将来の目標等記入するのかなと思いました。目標が見え、家庭学習につながるような工夫はできないのでしょうか。⑥組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラムが必要だと思います。⑦全体的には若干の向上と言え、すべて本心で書かれた数字なのであれば現在の値でも十分であると思えますし、毎年、数値が向上し続けることや項目ごとでも100%が「まあまあ当てはまる」以上となることなどは現実的ではないので、現在の数値を保ち続けるような努力が必要であると考えます。総合評価でも述べられているとおり、数値の低い希望手帳と家庭学習についての改善が必要なのはもちろんですが、「23.授業内容を理解している」の項目からは約5人に一人が授業内容を理解できていないこととなり、本来の学校の役割である学業面としての教育において、いかに取りこぼさないようにするかが重要課題であるといえます。ついていける生徒、ついていけない生徒、それぞれにきめ細かい対応を行うことは多大な労力が必要だと思えますが、改善を期待しています。⑧生徒の評価は学校経営上最も重視したい事の一つです。教育を受ける立場、学校管理下に生活する立場は、教育活動の良さも拙さも良く見えるところにあると思えます。とても高い評価を得ており嬉しいのですが、特に厳しい評価の学校行事や希望手帳、家庭学習については原因究明や手立てを講じる必要を感じます。⑨前年度からすると評価が全体的に良くなっているのはとても良くて安心しました。コロナ禍の中で先生と生徒のコミュニケーションの差があるようです。生徒の意見に耳を傾けお互いが理解できるように話し合いが必要ではないかと考えます。⑩数字だけでなく、生徒の声も知りたい。</p>	
<h3>4 保護者における評価について</h3> <p>『保護者による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。</p>	<p>3, 4</p>
<p>『保護者による評価』における御意見 ①コロナの影響でPTA活動もできない状況もあり、保護者との情報共有ができなかった面は感じられます。今後はコロナの終息に合わせてPTA活動を活発にして保護者と先生方と一緒に生徒達の成長をサポートしていきたいと思えます。子どもの意見に耳を傾ければわかるが、子どもにとって無駄はないと思う。②保護者からの意見や質問はすぐに対応して欲しい。また、このような保護者を大切にしようと城北が発展しますように。学校行事を実施できることが一番ですが学校、生徒の様子が事あるごとに少しでも保護者に伝わるようにして欲しいと思えます。③コロナの影響で全てにおいて思うような活動ができなかったと思えますが、令和5年度こそは城北高校の良さを存分に出来ることを期待します。④バスの運転が荒いが気になりました。⑤回収率が約半数ですがそもそも保護者へ渡っていない可能性もあるのではないのでしょうか。ネットによる通知や回答が可能であればもう少し回答率は高くなると思えます。過去3年のコロナによるコミュニケーション不足の影響はどうしても大きいと考えますが、逆にとらえればそれを言い訳にできる状況でもあったわけですが。しかし、令和5年度からはコロナ以前のような状況に戻ることが予想されますので、これからの取り組みが本来の評価につながると思われれます。総合評価で行われた課題認識をもとに対応をお願いいたします。⑥保護者の評価の根拠は、本校に対する期待と生徒の姿を比べることにあると思えます。子どもが喜んで学校に行っていることや教育の成果が勉強や運動の成績となって現れることに高い評価を得ていると思えます。期待が大きければ評価は厳しくなり、期待を超える子どもの姿は高い評価を得ます。生徒達がいかに成長しているかを指標に教育活動を充実させたいものです。⑦保護者の方の意見もいろいろであるようですが、評価表を見ると数値は良い方に増えてきているようで安心しています。良くて当たり前と思っています。意見の中には厳しい声もありますが少しでも良い方向へ行ってもらいたい。学校行事の内容について少し連絡不十分な点もあるようです。</p>	

5 その他御意見

①今回初めて学校評価を拝見させて頂きました。コロナ禍の中、様々な制限のある中での教育活動ではありましたが、全体的に高い評価であると感じます。建学の精神にあります「人間をつくる」のもと、一人の人間として生徒達は成長しているように思います。これからも引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。②高校生活すべてが人生勉強だと感じました。失敗して怒られること、褒められること等、様々な体験を城北高校で過ごすことができたのは、子どもにとって宝物ではと思います。3年間通わせて頂き本当にありがとうございました。③中学校ではどの教科もタブレットを使用した授業があり、生徒の取り組む姿勢が良いと聞きます。すでにできているかもしれませんが環境整備を充実してやって欲しいと思います。挨拶をしない生徒が多いとあり、気になりました。城北の良いところだと思いますので頑張ってください。④この少子化の中でたくさんの生徒を募集し入学させておられる校長先生をはじめ先生方には感謝です。⑤総合評価における課題認識は適正に行われていると感じます。学校評価における問題点は、数字を低く回答する人よりも、そもそも回答しない人の意見を吸い上げる手立てがないことだと思います。今回も約半数の回答であるため、もし8割程度の人が回答すれば結果の数値も大きく変わる可能性もあり、総合評価における課題認識や新たな対応方策の検討も外れになっているかもしれません。是非、次年度は回答率の向上も大きな課題の一つとして検討願います。⑥学校の施設設備も指導に携わる先生方も教育活動を支える事務・スクールバス・食堂・寮の皆さんも、城北高校に愛着を持って働いておられることに感謝です。少しずつ施設設備は充実してきましたが不備はたくさんあります。今気にしていることはトイレです。特に本館棟は早く改善できればと考えています。中川理事長がお亡くなりになり学校の体制がどう変化するのか大変気がかりです。今後一層の発展を期して、すべての城北高校関係者が心を一つに生徒さんを育てていけたらと思っています。⑦教務部の反省のところで不安な言葉がありますが大丈夫なのでしょう。⑧この3年間、新型コロナで生徒、先生と保護者と大変だったと思いますが、世界にはもっと大変な人たちがたくさんいます。まだ、しばらくの間続くと思いますが、今後の生徒、先生、職員の方の活躍に期待しています。頑張れ、城北高校！！

学校関係者評価委員会(5月、3月実施) 報告

【1】第1回学校関係者評価委員会

日時 令和4年5月25日(水)13:30~14:30

場所 役員室

出席者 本校評議員(15名)

議事

- ① 学校の現況について
- ② 昨年度(令和3年度)の学校評価の総括について
- ③ 今年度(2022(令和4)年度)の教育重点目標について
- ④ 意見交換

令和3年度も、新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの教育活動の実施で、行事や校外活動において総括について確認し、今後の対策とともに学校評価を基にした令和4年度への教育重点目標を確認した。学校行事や本校の教育の展開についても確認した。学校関係者評価委員会では、学校の現況報告に対して、以下の報告や意見がなされた。

- (1) コロナ禍においての厳しい状況があるところには目を向けた教育を。コロナ禍における教育活動の展開、クラスター発生後の生徒のケア等が大切である。
- (2) 保護者の期待度にこたえる教育を。
- (3) 昨年度を反省し課題を解決していこうとする目標設定に期待したい。
- (4) さらに学力向上、進路実現に期待したい。
- (5) 学校の地域からの信頼が素晴らしいと思うが、さらに職員一丸となって頑張ってもらいたい。

【2】第2回学校関係者評価委員会

日時 令和5年3月24日(金)11:00~12:00

場所 会議室

出席者 本校評議員(15名)

議事

- ① 学校の現況について
- ② 令和4年度の学校評価について
自己評価・生徒評価・保護者評価・学校関係者評価の総括について
- ③ 次年度(令和5年度)へ向けて
- ④ 意見交換

学校評価をもとに総括を行った。コロナ禍における学校教育の展開、保護者の来校機会の減少、退学・転学・不登校生徒への対応等においての対策と今後の教育活動について理解を図った。学校関係者評価委員会では、以下の意見が出された。

- (1) 全体的には高評価である。学校行事、学習環境ともにより高みを目指せば、その満足度に比例して、疲弊感が増したり、時間的な余裕がなくなったりするものであるため、バランスは難しいと思う。様々な学科があり、生徒間にも格差があるため指導なども一律にできないであろうからより一層である。そんな中、先生方の頑張りは、学校に近い人ほどより認識していると思うので、授業参観や各種行事などできるだけ実施し、参加を促すことも評価が上がる手立てになるのではないか。
- (2) 現在は様々な家庭環境、生徒の状況があり、学校としても出来得る限り考えて教育活動を進めて、転退学問題や不登校問題に真剣に向き合っておられるのが伝わる。全通併修制度への取り組みはとてすばらしい取り組みである。
- (3) 課題である学習に対する取り組み、学習習慣の確立へ向けての基本となる「8 予習・復習」への取り組みがようやくではあるが徐々に上がってきているのは良い方向であるが、依然として低い数値である。
- (4) 生徒の満足度を高めるために教育活動をどのように行うか職員一人ひとりの意識や行動が大切になる。先生方も朝早くから様々な場所で動いて生き生きとしている感じがありとても良い。
- (5) 各校務分掌においても課題が昨年以上に明確になった。生徒による評価、保護者による評価についても結果数値としては良くなってきているが、しっかりと受け止め今後の教育活動へ生かしていかなければならない。
- (6) 生徒アンケートや保護者アンケートの意見の中に厳しい意見がある。課題とし改善していく事が大切である。
- (7) コロナの状況、国の対応が変わってからの学校の行事、学校教育活動の充実が大切である。

7. 総合評価

本校の建学の精神である『人間をつくる』を教育の柱におき、昨年度の反省を改善すべく、本年度の教育重点目標を立て、生徒、保護者を満足させる教育活動、内容、行事等の検討を行ない活動してきた。本校には心を磨き育てるための教育理念である「この坂を上れば希望がある」、城北スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」があり、全ての教育活動・実践において中心に据えているものである。本年度も新型コロナウイルス感染症により様々な行事や教育活動において制限や中止、見直しを行いながらの1年であったが、大きな行事である体育大会、学園祭、J ミッションを行うことができたことは大変有意義であった。コロナ禍における教育実践をしっかりと考え検討した結果の実践で、本校教育における効果を生徒の様子から伺うことができ、成果としてあげられる。

また、今年は各学科・コースの特色ある活動による成果や部活動等の活躍も結果として素晴らしい成果を出した1年となった。医療福祉科では、熊本県及び九州地区高校介護技術コンテストにおいて最優秀賞を受賞し、初めて全国大会へと出場し、全国大会の大舞台においても堂々とした発表で、第2位の優秀賞を獲得する快挙を成し遂げた。部活動においても、創部2年のチアダンス部が、Pom部門 高校生 small 編成の部で、昨年2位の雪辱を果たし、見事日本一に輝いた。このように本校生徒の全国大会での活躍は、特色のある各学科コースの生徒達や全国を目指し頑張っている部活動生にとって、また、人間性で日本一を挙げる本校の教育方針において、全く手の届かない目標でなく、具体的に一人ひとりの日々の学校生活や教育活動における努力の成果においても成し得る目標として教師、生徒一人ひとりの意識の変容にもつながったと考える。

今年度も教員・職員自らが客観的に自己評価を行い、生徒・保護者からも無記名で率直にアンケートに協力いただき、様々な意見をいただいた。それらの結果を、教職員一同、謙虚に受け止め、今後の本校の教育活動に生かし、更なる魅力ある学校を構築していきたいと考える。

自己評価については、例年様々な項目の中で若干の増減を繰り返していたが、大項目「学校経営」については過去最高の評価となった。職員が日頃の教育の中で建学の精神、本校の教育目標等を意識して教育実践している表れである。一方で、「学力向上」、「生徒指導」の面では、課題点も多く挙げられた。次年度へ向けた具体的な改善を図る必要がある評価となった。力をつける授業の実践・学習習慣と基礎学力の定着、生徒指導の自立心と自尊感情の育成と基本的な生活習慣の確立等についてなど学校の柱となるもので、検討改善していきたい。また、校務分掌の評価についても昨年評価値が全体的に下がっていたが、その状況が本年もほぼ変わっておらず、コロナ化の教育活動も含めたところで多くの問題や課題が改善できていない状況であると考えられる。そのため、本校の教育全体を見直し、より良い教育提供へ向けた改善が必要となる。

生徒による評価については、生徒アンケート28項目目「28. 城北高校に入学してよかったと思っている」に当てはまると回答した生徒が、統計上最高の42.8%となったところは大変うれしく感じる場所であるが、生徒への満足度を高める教育、指導については教職員全員で再確認しながらさらに向上するよう実践していきたい。昨年が、「当てはまる」と回答した生徒が8割強の23項目について、数値が低下する結果となったが、今年は若干であるが改善してきている。生徒へ満足感、達成感、興味や関心を引き出していく教育活動になっているかが問われており、課題解決するための研究や改革が必要となる。また、「10. 安心して学校生活を送る」「11. いじめのない学級、学校づくり」については、生徒自身が安心感や自分の居場所を感じている数値であり、昨年より若干上がってきているが、更なる取り組みを行いたい。生徒一人ひとりの向きあい方とその関わり方を大切に、教師側が気づき、行動する指導の実践を確認したい。生徒の率直な意見としてとらえるべき「27. 明るく生き生きと学校生活を送ることができている」の数値が上がってきているところも評価できる場所であるが、年度によっての増減があり、今後へ向けて更なる検討課題の一つである。例年数値の低い「20. 希望手帳の活用」「22. 家庭学習への取り組み」

については対策を考えての実践が行われているのか疑問に思うほどの数値であり、学校全体として改善が必要である。

保護者による評価については、教育活動を行っていく中で、保護者との連携や保護者からの理解や協力は不可欠なものであり、重要なものであるが、昨年が過去最低の回収率で回答内容についても厳しい数値となったが、今年もその数値とさほど変わらない数値となった。一昨年まではアンケート15項目の内「あまりそう思わない」「思わない」の数値が1割を超える項目は皆無であったが、昨年は15項目中12項目で1割を超える厳しい結果となった。今年は15項目中4項目と減少はしているが、全体の数値としてはまだまだ、改善不足を感じる結果となった。3年間 PTA 総会を始め、学校行事等で保護者参加行事が実施できず、PTA 活動自体も滞っている状況にあり、保護者との連携があまりとれていないことが最も影響していると考え、保護者の学校、教員に対する信頼の欠如も保護者からの言動の中に感じる1年であった。その現実を率直に、学校全体で教師一人ひとりが我が身を振り返り、生徒に対する言動や保護者に対する協力・連携、説明の丁寧さなど確認し、改善する必要がある。学校経営を全体的に見直し、生徒・保護者とつながり、教育の質を高める努力をし、根本的に改善しなければならない。

本校が掲げる教育目標や重点目標への実践が保護者目線でどのように映っているのか、理解を頂いている面と上記の「そう思わない」と答えていただいた数値に目を向け、課題を明確に取り組む必要がある。学力向上については、生徒が意識的かつ意欲的に学習に取り組む授業、生徒の可能性、能力を引き出し向上させる授業、学力を上げ、成績向上へつながる授業の創造へ向け、更に研究と自己研鑽を積んでいく必要がある。個人の授業力、指導力の向上と組織としての個々の連携、組織としての力を上げるため、授業研究、毎時の授業における具体的実践と振り返り、教師間における学び、研修等の実施など更に改善を図りたい。また、保護者との相互理解、協力は必要不可欠なものである。厳しい意見を頂いたという現状を受け止め、日頃からの生徒・保護者との関わりがこの結果の根本にあるという認識のもと、現状の課題を明らかにしながら改善していく。愛と指導力と感性で生徒との関係を創り上げ、保護者の理解と連携を創り上げることを職員全員で再度確認し、「満足させる教育」の実践を確立していきたい。今回の評価すべてを職員個人の課題とし、また、組織の課題としてしっかりと向き合い、改善していきたい。